



陸 上 自 衛 隊



Japan Ground
Self-Defense Force



「多次元統合防衛力」を 実現し得る陸上防衛力



「30大綱」に基づく陸上防衛構想

「多次元統合防衛力」を実現する陸上防衛力を構築して、部隊配備や常時継続的な機動等により抑止力を強化、事態生起時には、領域横断的な戦力を発揮して、侵攻を阻止・排除します。

30大綱

「多次元統合防衛力」

陸上
防衛構想

「多次元統合防衛力」を実現する陸上防衛力

■領域横断 ■機動・展開 ■基盤強化



船舶に搭載される機動戦闘車

サイバー領域・電磁波領域における能力の強化

サイバー部隊の新編

電磁波作戦部隊の新編



ネットワーク電子戦システム

スタンド・オフ防衛能力の強化

島嶼防衛用高速滑空弾部隊の新編



総合ミサイル防空能力の構築

弾道ミサイル防衛部隊の新編



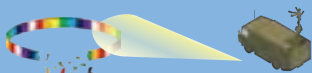
平素からの常時継続的な機動により、抑止力・対処力を強化

※ イメージ

サイバー・電磁波領域における能力強化



サイバー能力の強化



ネットワーク電子戦システムを活用した電磁波領域における能力強化

南西地域の島嶼部の部隊の態勢を強化

- ✓ 警備部隊
- ✓ 地対空誘導弾部隊
- ✓ 地対艦誘導弾部隊



V-22



海上機動する水陸両用車



駐屯地・分屯地の新設

南西地域の防衛態勢強化のため、平成31年3月26日に奄美駐屯地、宮古島駐屯地等に警備部隊等を新編しました。また、崎辺分屯地（長崎県佐世保市）を開設して、水陸機動団の一部を配置しました。



奄美駐屯地に配備されたO3式中距離地对空誘導弾



奄美駐屯地



宮古島駐屯地



市民に囲まれる瀬戸内分屯地隊員

機動師団・旅団への改編、地域配備師団への改編

島嶼部における事態等に即応し、実効的な抑止及び対処を実現するため、平成29年度末の第8師団及び第14旅団の改編に引き続き、平成30年度末に第6師団及び第11旅団を高い機動展開能力を有する機動師団・旅団に改編しました。

また、機動師団・旅団の展開後の広域な地域の防衛・警備に当たるため、平成30年度末に第4師団を地域配備師団として改編し、その隷下部隊として情報ネットワーク、警戒・監視能力等を強化した偵察戦闘大隊を新編しました。



第6機動師団の改編行事



偵察戦闘大隊に装備された16式機動戦闘車等

わが国を取り巻く 安全保障環境



安全保障環境概観

わが国を取り巻く安全保障環境は、各段に速いスピードで不確実性を増しています。

中国情勢

中国の軍事動向等については、わが国を含む地域と国際社会の安全保障上の強い懸念となっています。



尖閣諸島の接続水域を航行した中国海軍の潜水艦

■ 最近のわが国周辺の安全保障関連事象



北朝鮮情勢

北朝鮮の核・ミサイルの能力に本質的な変化は生じていない状況です。



北朝鮮の「火星15」型

朝鮮通信＝時事

ロシア情勢

わが国周辺を含め、軍事活動を活発化させる傾向が見られます。



ロシア軍のヴォストーク演習

SPUTNIK／時事通信フォト

宇宙

各国は、宇宙領域において、自国の軍事的優位性を確保するための能力を急速に強化しています。

サイバー・電磁波

各国の政府機関や軍隊に対するサイバー攻撃が多発。中にはロシア、中国、北朝鮮などの政府機関の関与が指摘されている事案もあります。

地域紛争・国際テロなどの動向

ISILが日本人も攻撃対象と表明していることや、バングラディッシュ・ダッカでの襲撃事件を踏まえれば、国際テロの脅威は、改めてわが国自身の問題として正面から捉えなければならない状況となっています。

「30大綱」に基づく 陸上自衛隊の取組



領域横断

サイバー・電磁波領域における作戦能力の獲得・強化

サイバー・電磁波領域における作戦能力を強化するため、共同のサイバー部隊に所要の人員を充当するとともに、陸上総隊にサイバー部隊及び電磁波作戦部隊を新編します。



サイバー対処(イメージ)



ネットワーク電子戦システム

海空領域やスタンド・オフ防衛能力の強化

地対艦誘導弾、地対空誘導弾部隊を南西地域に配置します。また、2個高速滑空弾大隊を新編します。



12式地対艦誘導弾の射撃



03式中距離地対空誘導弾の射撃

総合ミサイル防空能力の強化

ロフテッド軌道のミサイルや、同時発射された複数のミサイルへの対処能力を向上させるため、2個弾道ミサイル防衛隊を新編するとともに、システム通信基盤の整備等を行います。



イージス・アショア(イメージ)



対空戦闘指揮統制システム
(ADCCS)

機動・展開

機動運用部隊の機動展開能力の強化

機動及び被輸送性の高い機動戦闘車を有する即応機動連隊を新編し、機動展開能力を強化します。また、水陸機動団の態勢を強化、艦艇と連携した活動や各種の訓練・演習といった平素からの常時継続的な機動を行い、抑止力・対処力を強化します。



地域配備部隊の警戒監視、機動対処能力の強化

広大な領域において、機動的に対処し得る態勢を強化するため、情報共有ネットワーク、警戒・監視能力、機動力、火力を強化した偵察戦闘大隊を新編します。



海上輸送能力の強化

海上輸送部隊を共同の部隊として新編し、海上輸送能力を強化するとともに、民間船舶については、自衛隊の輸送力と連携して大規模輸送を効率的に実施できるよう、積極的に活用します。



基盤強化

通信システム・情報能力の強化

政策判断や部隊運用に資する情報支援を適時・適切に実施するため、情報共有・指揮通信、警戒監視、目標情報の収集、情報処理機能等を強化します。



継戦・後方支援能力の強化

火薬庫の拡張、各自衛隊による共同使用の推進、整備用部品の確保などの兵站基盤強化や、救命率を向上するため、第一線から最終後送先までのシームレスな医療・後送態勢を強化します。



訓練基盤の整備

北海道を始めとする国内の演習場等の整備・活用を拡大するとともに、自衛隊施設等以外の場所及び国外の良好な訓練環境の活用を促進し、抑止・対処能力を向上させます。



各種事態等への対応



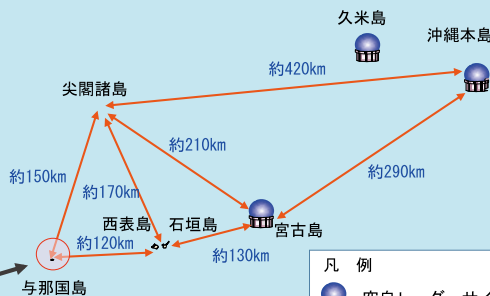
わが国周辺における常続監視

陸上自衛隊は、平素から主要な海峡において24時間態勢で警戒監視を行っています。

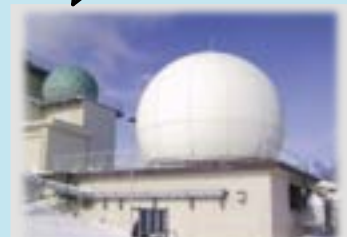
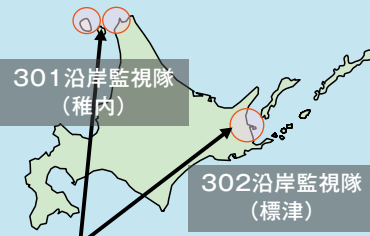
■ 陸上自衛隊による警戒監視の状況

与那国島における警戒監視

与那国沿岸監視隊



北方における警戒監視



在外邦人等の保護措置への対応

陸上自衛隊は、外国での災害、騒乱、その他緊急事態に際し、在外邦人等の保護措置を迅速かつ的確に行うため、部隊を速やかに派遣できる態勢を取るとともに、各種訓練を実施し能力の維持・向上等に努めています。

タイにおける多国間共同訓練(コブラゴールド) 平成31年1月14日～2月23日



弾道ミサイル攻撃等への対応

陸上自衛隊は、弾道ミサイル等の落下に伴う被害情報収集及び被害局限処置に万全を期しています。

PAC-3の防護



映像伝送装置を搭載した
多用途ヘリコプター

島嶼部に対する攻撃への対応

陸上自衛隊は、海・空自衛隊と一体となった統合運用により部隊を展開・集中し、侵攻を阻止・排除します。また、万が一占拠された場合には、あらゆる措置を講じて奪回します。



海兵隊のMV-22による輸送



水陸両用車による上陸



空挺降下

ゲリラや特殊部隊などによる攻撃等への対応

陸上自衛隊は、各都道府県警察との間で、全国各地で共同実動訓練を継続して実施しています。

また、関係省庁の協力のもと、地方公共団体などの参加も得て国民保護訓練を主催しているほか、関係省庁や地方公共団体が実施する国民保護訓練に積極的に参加しています。

警察との共同訓練 平成29年2月9日



不審者の確保

東京都国民保護実動訓練 平成30年11月20日



汚染地域の除染

大規模災害等への対応

陸上自衛隊は、天災地変その他災害に対して、人命又は財産の保護のため、都道府県知事等の要請に基づき、捜索・救助、医療、給水、輸送等の様々な災害派遣活動を行います。

平成30年7月豪雨災害に係る災害派遣 平成30年7月6日～8月18日



行方不明者の捜索

北海道胆振東部地震に係る災害派遣 平成30年9月6日～10月14日



厚真ダム洪水吐における倒木除去

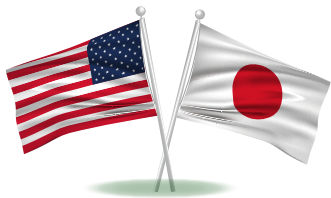
日米の相互運用性向上を通じた抑止力・対処力の強化

米国陸軍・海兵隊とのあらゆるレベルでの協議・協力を通じ、日米の抑止力・対処力を強化します。

日米共同訓練

日米共同方面隊指揮所演習(YS-75)

平成30年12月3日～17日



日米共同訓練



日米共同作戦会議



日米調整の様子



防衛大臣による視察

米陸軍との実動訓練

アークティックオーロラ 平成30年5月28日～6月30日



米陸軍との調整



空挺降下

ライジングサンダー 平成30年8月23日～9月22日



狙撃中の隊員

オリエントシールド 平成30年8月26日～9月19日



室内へ突入直前の日米部隊

米海兵隊との実動訓練

フォレストライト02 平成31年2月4日～15日



市街地における戦闘

フォレストライト01 平成30年12月7日～19日



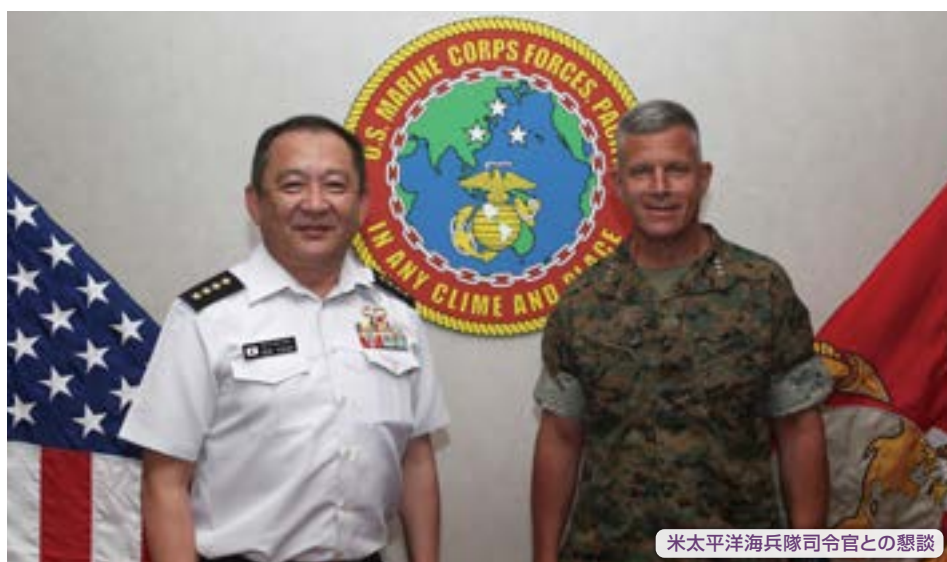
調整中の両部隊指揮官

アイアンフィスト19 平成31年1月7日～2月16日



水陸両用車の発進

ハイレベル交流



米太平洋海兵隊司令官との懇談



米インド太平洋軍司令官との懇談



在日米陸軍司令官との懇談

望ましい安全保障環境の創出への積極的関与

日米同盟を基軸として、豪・印・ASEAN・韓・英・仏、太平洋島嶼国等と各種防衛協力・交流を戦略的に実施します。

国際平和協力活動等への参加

派遣海賊対処行動支援隊(ジブチ共和国)



多国籍軍監視団への派遣(エジプト)



国連南スーダン共和国ミッション(南スーダン)



国連PKO支援部隊早期展開プロジェクト(ケニア及びベトナム)



能力構築支援

軍楽隊への支援(パプアニューギニア)



人道支援・災害救援(東南アジア諸国等)



救急法の指導



災害対処机上訓練(ASEAN各国)

共同訓練・演習

モンゴルにおける多国間共同訓練・演習 カーンクエスト



陸自教官による教育



暴徒対処訓練

国内における英国との共同訓練・演習



日英共同ヘリボン作戦



日英共同での潜入

インドにおける日印共同訓練



印軍と対テロ訓練を行う隊員



印軍兵士と林内を機動する隊員

民生協力及び広報

民生協力

陸上自衛隊は、地方公共団体や関係機関からの依頼に基づき、不発弾などの処理、運動競技会に対する協力及び地元との交流等、様々な分野での民生支援活動を行っています。



広 報

陸上自衛隊の活動等を広く国民に紹介するために、富士総合火力演習の公開や音楽隊による演奏、駐屯地記念行事等における駐屯地・部隊見学等の自主的広報活動、イベントや番組取材・撮影協力等の協力的広報活動を実施しています。

富士総合火力演習（公開演習）



10式戦車による射撃



16式機動戦闘車による射撃

駐屯地記念行事



観閲行進（東千歳駐屯地）



訓練展示（神町駐屯地）

自衛隊音楽まつり



中央音楽隊及び第302保安警務中隊



全出演部隊によるフィナーレ

音楽隊による海外派遣演奏等



海外派遣演奏（ドイツ連邦共和国）



西部方面音楽隊定期演奏会

人的基盤の強化



厳しい採用環境や自衛隊の役割の多様化等に対応するため、人材の確保・育成・運用、還元に係る各種人事教育施策を総合的に実施しています。

主要な人事教育施策

施 策	実 施 内 容
採 用	● 備品の更新、施設の整備等による生活勤務環境の改善(魅力化) ● 非任期制士の採用拡大、大卒者を含む採用層の拡大等の検討 ● 女性比率の拡大、基盤等の整備により、女性自衛官の活躍を推進 ● 再任用の拡大等による退職自衛官等の活用
育 成	● 長時間労働の是正、休暇取得促進等、働き方改革 ● 庁内託児所の整備、緊急登庁支援等家族支援施策 ● 民間技術の活用による教育基盤の充実・効率化
援 護	● 防災監や幅広い分野への再就職等の推進



防衛大学校学生総合情報図書館



防衛大学校学生会自習室



庁内託児所



災害派遣において活躍する防災監(自衛隊OB)

女性自衛官の活躍

防衛省は、平成29年4月、全自衛隊に占める女性自衛官の比率倍増を目標とする「女性自衛官活躍推進イニシアティブ」を発表しました。原則として全職種が女性自衛官に開放され、これまで配置が制限されていた部隊でも女性自衛官がその能力や適性を活かして活躍できるようになりました。

それに伴い、仕事と家庭を両立させるための制度（育児や介護のための休暇、庁内託児所の整備、災害派遣等の緊急時に子どもを預かる緊急登庁支援等）にも力を入れています。



山崎 麻由

(やまさき まゆ) 2等陸佐(第8高射特科大隊長)

私には二つの顔があります。高度にシステム化された装備品を駆使し、侵攻する航空機等を要撃する「対空戦闘部隊の部隊長」としての顔と、仕事との節調を図り、子供の小学校行事等に参加する「ワーキングママ」としての顔です。

陸上自衛隊は、両立支援制度も充実しており、安心して働ける環境が整備されています。男女関係なく自分の意思をもって何事もチャレンジできる組織で、今後も頑張っていこうと思います。

皆川 桃子

(みながわ ももこ) 第11施設群 第357施設中隊 交通小隊長*

私の所属する中隊は、油圧ショベル等の器材を保有しており、主に道路構築や橋りょうの架設をしています。このためPKOや災害派遣においては、高い技術をもって様々な活動を行っています。私自身、訓練等を計画し、隊員と一緒に訓練を行っている他、日米共同訓練では通訳要員として参加し、幅広く活動しています。

私は育児をしながら勤務していますが、自衛隊では年々女性が働きやすい環境が整備されてきているため、公私ともに非常に充実しています。多くの方々とこの素晴らしい環境下で一緒に頑張っていきます。



※現所属及び補職 第4施設群 群本部 第2科 保全幹部



斉木 学美

(さいき まなみ) 准陸尉(東部方面隊最先任上級曹長)

着任以来日々、隊員一人一人の「人間力」が組織を支え国民からの信頼に繋がっていると感じています。私自身は、その時々で目標となる隊員に出会えた事により今があると思っています。そのことを忘れず、上司の「隊員一人一人は宝物である」という熱い思いを受け「隊員の心に火をつける事ができる最先任集団」を目指しています。

5年、10年後の隊員達に同じ悩みや苦しみをさせないために何をしなければならぬのか？それをする事が今いる者の責任だと思います。最先任上級曹長が一丸となり輝ける日本の「宝」を育てる一翼を担います。

宮崎 結希

(みやざき ゆうき) 陸士長(第3普通科連隊第1中隊 副砲手)

私は、平成29年4月に入隊、普通科中隊へ配置となりました。訓練では、男性隊員と同等以上に部隊に貢献できるよう様々な工夫を重ね、任務を完遂出来るように努めています。また、部内外の行事では、女性にしか出来ない事が多々あり、積極的に参加し、活躍の場を広げています。昨年は、新隊員特技課程迫撃砲班の助手として教育に参加して、教えることの難しさや楽しさを実感する等、貴重な経験もさせて頂きました。

現在は、陸曹候補生に合格し、夏から入校しますが、女性の活躍が広がる中で、私は、もっと出来る事を増やし、先駆けとなれるよう訓練に励みたいです。



幹部の教育

幹部の教育は幹部自衛官に任官前の幹部候補生の教育と幹部自衛官に任官後の教育に分けられます。

幹部候補生の教育は、初級幹部として必要な知識と技能を学びながら、幹部としての資質を養います。

幹部自衛官に任官後は、幹部初級課程や幹部上級課程などの各職種・職域に応じた教育を受け、さらに上級幹部となるために、教育訓練研究本部において指揮幕僚課程や幹部高級課程等の上級教育も用意されています。

また、幹部自衛官として、更に幅広い知識を深めるため、米軍への留学や国内外大学院等への研修の機会も得ることができます。



幹部初級課程(小隊指揮法)



幹部上級課程(兵棋演習)



幹部特修課程(硫黄島戦史研修)



指揮幕僚課程(現地戦術)

曹・士の教育

入隊後、自衛官候補生は自衛官候補生教育及び特技教育を、一般陸曹候補生は前期教育及び後期教育を履修し、部隊に配属されます。

部隊での一定期間の勤務後、自衛官候補生は選抜試験、一般曹候補生は選考により、陸曹候補生課程を履修し、陸曹として必要なリーダーシップ、技術、知識を学び陸曹としての第1歩を踏み出します。陸曹となった以降は、階級に応じた課程教育、留学を通じて、陸曹として必要な知識や技能の向上に努めていきます。



徒步行進訓練



戦闘訓練



野外整備実習



システム防護課程の総合演習

就職援護業務

就職援護業務の趣旨

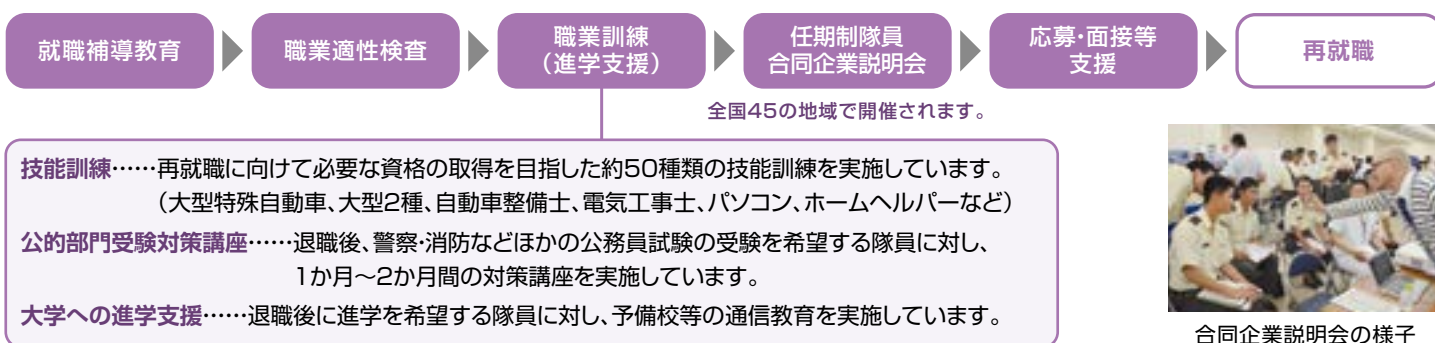
自衛隊は、任務の性格上、組織の精強性を維持する必要があるため、自衛官の大半が若年定年制で50歳代半ばに、また、任期制では主に20歳代～30歳代半ばで退職するようになっています。

そのため、他の公務員より若い年齢で退職を余儀なくされる自衛官の退職後の生活基盤を確保することは、「国の責務」であり、退職する自衛官が確実に再就職できるように、各種の就職の援助に資する施策を行っています。

民間企業への再就職支援

退職自衛官の将来への不安の解消や優秀な人材確保のためにも極めて重要であることから、再就職に有効な職業訓練などの援護施策を行っています。

●任期制隊員の就職支援のイメージ



合同企業説明会の様子

●若年定年退職隊員の就職支援のイメージ



幅広い分野で活躍する退職自衛官

退職自衛官を雇用いただいた企業のほぼ100%から、退職自衛官について「勤務態度が勤勉(真面目)」及び「責任感が強い」というご意見を多数頂戴しております。

幅広い分野に再就職して活躍する退職自衛官



空港の保安検査員



農林水産業の機械操縦手

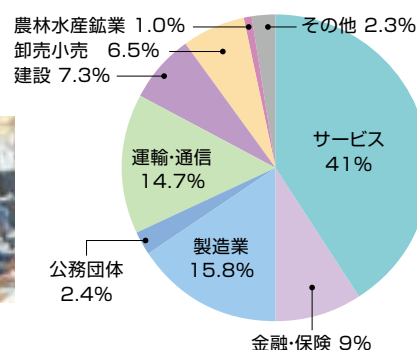


企業の事務職員



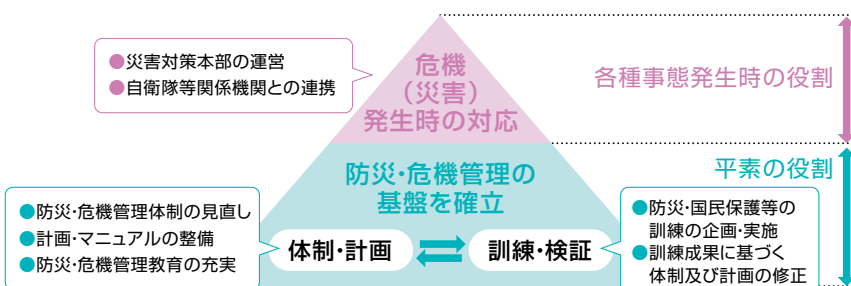
地方自治体の防災監

■退職自衛官の再就職実績



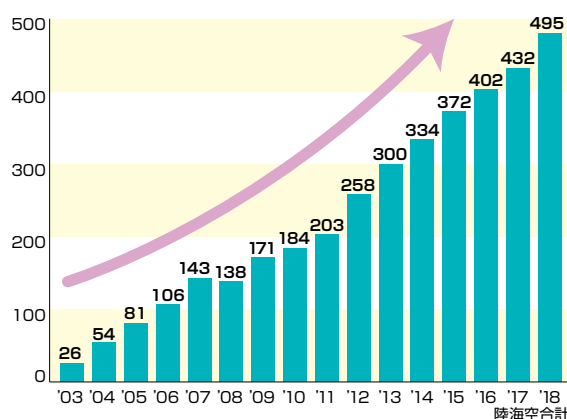
防災危機管理分野での活躍

地方公共団体では、近年全国各地で頻発する豪雨災害、土砂災害等に対応するため、防災の専門性を有する外部人材を「防災監」や「危機管理監」等として採用・配置しており、多くの退職自衛官が、その知識・経験を生かし、防災・危機管理分野で活躍しています。



※内閣府から「地域防災マネージャー」証明書の交付を受けた退職自衛官を採用する場合、特別交付税措置の対象になります。
(措置の対象は、1地方公共団体に1人までであり、人件費の1/2(上限額:340万円))

■防災関係部局在職者の推移(過去13年で逐次拡大)



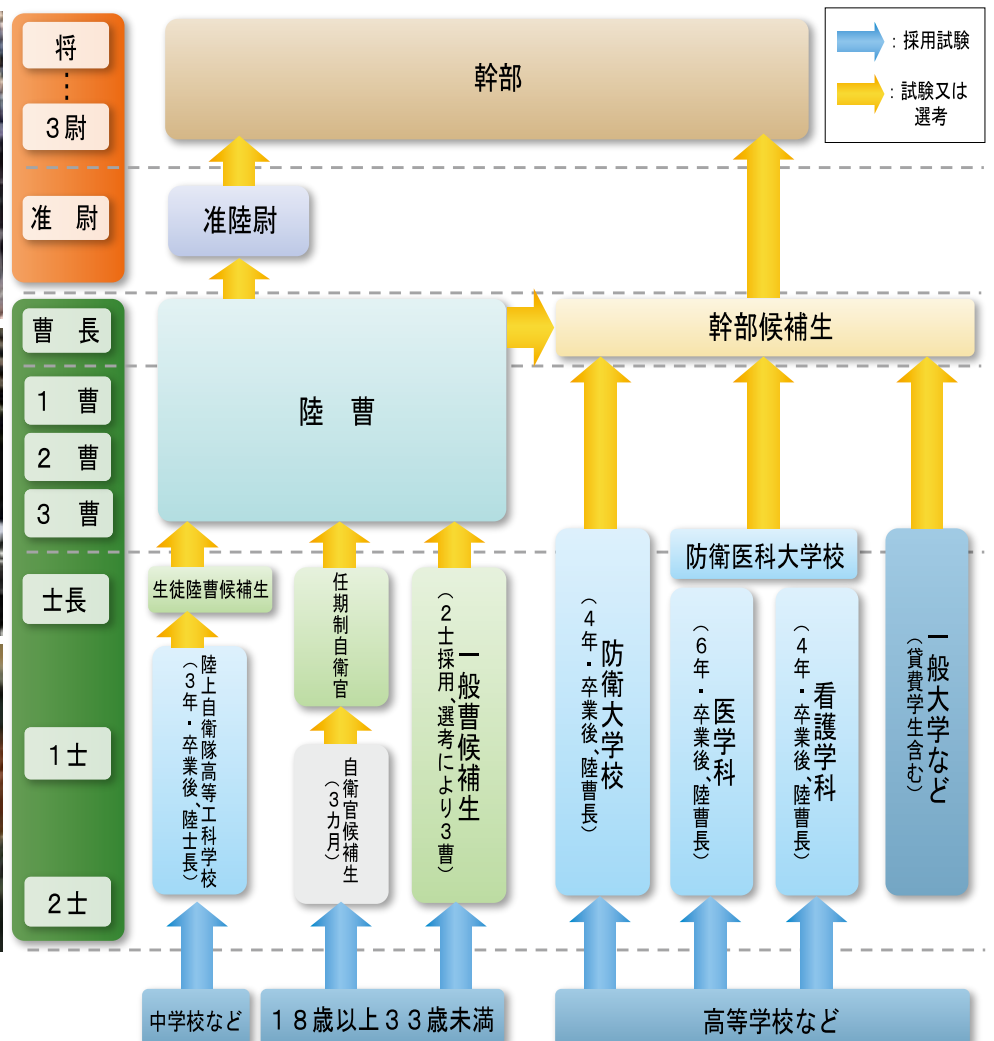
陸上自衛隊の採用

陸上自衛隊の主な採用コース

陸上自衛官になるには、大きく分けると、部隊等の骨幹となる幹部自衛官になるためのコース、部隊等の中核となる曹になるためのコース、希望にあった将来設計が可能な任期制自衛官になるための自衛官候補生、中学校卒業後、技術系の職務に従事する陸曹をめざす高等工科学学校へ入校する学生・生徒のコースがあります。



陸上自衛隊の任用制度



採用種目

※受験資格の細部、その他の採用種目は自衛官募集HP又は採用案内をご覧ください。最寄りの自衛隊地方協力本部へお問い合わせ下さい。

区 分		種目名		受験資格(※)		概 要	
自衛官 コース	幹部 コース	一般幹部候補生 (一般職)		大卒 程度	22歳以上26歳未満の者 (20歳以上22歳未満の者は大卒(見込含)) (修士課程修了者等(見込含))は28歳未満)	一般大学卒業業者等を対象とする幹部自衛官 (パイロットを含む)を養成します。	
				院卒者	修士課程修了者等(見込含)で、 20歳以上28歳未満の者		
		歯科・薬剤科 幹部候補生 (医療系)		歯科	専門の大卒(見込含)20歳以上 30歳未満の者	歯学・薬学の課程を修めて卒業した者等を 対象とする幹部自衛官を養成します。	
				薬剤科	専門の大卒(見込含)20歳以上 28歳未満の者		
		航空学生 (パイロット等)		高卒(見込含)18歳以上21歳未満の者 ※海上要員は23歳未満		高校卒業業者等を対象に、将来の海上・航空自衛隊の パイロット、戦術航空士(海上自衛隊)を養成します。	
	一般隊員 コース	一般曹候補生 (一般職)		18歳以上33歳未満の者		部隊等に勤務しながら、採用後約2年9ヶ月経過以降、 選考により3等陸・海・空曹に昇任します。	
		自衛官候補生 (任期制の一般職)		18歳以上33歳未満の者		自衛官候補生として教育・訓練を受け、修了後2士に 任用され、部隊等で任期制自衛官として勤務します。	
学生・生徒 コース	幹部 コース	防衛中学校 学生	一 般	高卒、高専3年次修了(見込含) 18歳以上21歳未満の者		将来、陸・海・空の幹部自衛官(パイロット含む)となる 者を養成します。	
			推 薦				
			総合選抜				
		防衛医科 大学校 学生	医 学 科	高卒、高専3年次修了(見込含) 18歳以上21歳未満の者		将来、陸・海・空自衛隊で医官(医師たる幹部自衛官) として勤務する者を養成します。	
			看護学科	高卒、高専3年次修了(見込含) 18歳以上21歳未満の者		将来、陸・海・空自衛隊の病院・部隊等で看護官 (保健師及び看護師たる幹部自衛官)として 勤務する者を養成します。	
	一般隊員 コース	高等工科 学校生徒 (技術系)	一 般	中卒(見込含)15歳以上17歳 未満の男子		中学校卒業業者を対象に、技術開発の職務に従事する ための知識・技能を教育します。	
推 薦							

採用に係る問い合わせ先

自衛隊地方協力本部所在一覧

所在地	電話番号	所在地	電話番号
札 幌 札幌市中央区北4条西15丁目1	011(631)5472	愛 知 名古屋市中川区松重町3-4-1	052(331)6266
函 館 函館市広野町6番25号	0138(53)6241	三 重 津市桜橋1丁目9-1	059(225)0531
旭 川 旭川市春光町国有無番地	0166(51)6055	滋 賀 大津市京町3-1-1 大津びわ湖合同庁舎5F	077(524)6446
帯 広 帯広市西14条南14丁目4番地	0155(23)5882	京 都 京都市中京区西ノ京立殿町38 京都地方合同庁舎内	075(803)0820
青 森 青森市長島1丁目3-5 青森第2合同庁舎内	017(776)1594	大 阪 大阪府中央区大手前4丁目1番67号 大阪合同庁舎2号館3F	06(6942)0543
岩 手 盛岡市内丸7-25 盛岡合同庁舎2F	019(623)3236	兵 庫 神戸市中央区臨海海岸通1-4-3 神戸防災合同庁舎4F	078(261)8600
宮 城 仙台市宮城野区五輪1丁目3-15 仙台第3合同庁舎内1F	022(295)2612	奈 良 奈良市高畑町552 奈良第2地方合同庁舎1F	0742(23)7001
秋 田 秋田市山王4丁目3-34	018(823)5404	和歌山 和歌山市築港1丁目14-6	073(422)5116
山 形 山形市緑町1-5-48 山形地方合同庁舎1F・2F	023(622)0712	鳥 取 鳥取市富安2丁目89-4 鳥取第1地方合同庁舎6F	0857(23)2251
福 島 福島市南町86	024(546)1920	島 根 松江市向島町134-10 松江地方合同庁舎4F	0852(21)0015
茨 城 水戸市三の丸3丁目11-9	029(231)3315	岡 山 岡山市北区下石井1丁目4-1 岡山第2合同庁舎2F	086(226)0361
栃 木 宇都宮市桜5丁目1-13 宇都宮地方合同庁舎内2F	028(634)3385	広 島 広島市中区上八丁堀6番30号 広島合同庁舎4号館6F	082(221)2957
群 馬 前橋市南町3丁目64-12	027(221)4471	山 口 山口市八幡馬場8-14	083(922)2325
埼 玉 さいたま市浦和区常盤4丁目11-15 浦和合同庁舎内	048(831)6043	徳 島 徳島市万代町3丁目5-徳島第2地方合同庁舎5F	088(623)2220
千 葉 千葉市稲毛区轟町1丁目1番17号	043(251)7151	香 川 高松市サンポート3番33号 高松サンポート合同庁舎南館2F	087(823)9206
東 京 新宿区山谷本村町10-1	03(3260)0543	愛 媛 松山市三番町8丁目352-1	089(941)8381
神奈川 横浜市中区山下町253番地2号	045(662)9429	高 知 高知市栄田町2-2-10 高知よこい咲合同庁舎8F	088(822)6128
新 潟 新潟市中央区美咲町1丁目1番1号 新潟美咲合同庁舎1号館7F	025(285)0515	福 岡 福岡市博多区竹丘町1丁目12番	092(584)1881
山 梨 甲府市丸の内1丁目1番18号 甲府地方合同庁舎内2F	055(253)1591	佐 賀 佐賀市与賀町2-18	0952(24)2291
長 野 長野市旭町1108 長野第2合同庁舎内	026(233)2108	長 崎 長崎市出島町2-25 防衛省合同庁舎2F	095(826)8844
静 岡 静岡市葵区柚木366	054(261)3151	大 分 大分市新川町2丁目1-36 大分合同庁舎内5F	097(536)6271
富 山 富山市牛島新町6-24	076(441)3271	熊 本 熊本市西区春日2丁目10番1号熊本地方合同庁舎B棟3F	096(297)2051
石 川 金沢市新神田4丁目3番10号 金沢新神田合同庁舎3F	076(291)6250	宮 崎 宮崎市東大淀2丁目1-39	0985(53)2643
福 井 福井市春山1丁目1-54 福井春山合同庁舎10F	0776(23)1910	鹿児島 鹿児島市東元町4番1号 鹿児島第2地方合同庁舎内	099(253)8920
岐 阜 岐阜市長良福光2675-3	058(232)3127	沖 縄 那覇市前島3丁目24-3-1	098(866)5457

WEBサイト等

詳しくは、QRコードから自衛官募集ホームページの各種ページへアクセスできます。

採用種目に
関する
情報はこちら！



地方協力本部に
関する
情報はこちら！



自衛官採用全般に
関する
情報はこちら！



予備自衛官等制度

予備自衛官等制度とは、普段は一般の職業に就く等しながら、各種事態や大規模災害等、いざという時に自衛官となる制度で、陸上自衛隊には予備自衛官制度、即応予備自衛官制度及び予備自衛官補制度があります。



倒木除去を実施する即応予備自衛官



被災地へ向かう即応予備自衛官

	予備自衛官	即応予備自衛官	予備自衛官補
	予備自衛官徽章	即応予備自衛官シンボルマーク	予備自衛官補徽章
役 割	第一線部隊が出動した後の駐屯地警備・通訳・補給などの後方支援、避難住民の救護・誘導、災害救助活動等の任務にあたります。	第一線部隊等の一員として、あらかじめ指定された部隊において常備自衛官と同様の任務にあたります。	民間の優れた専門技能を有効に活用し得るよう、自衛官未経験者を採用し、所定の教育期間を経た後、予備自衛官として任用します。
応招義務	防衛招集 国民保護等招集 災害招集 訓練招集	防衛招集 国民保護等招集 治安招集 災害等招集 訓練招集	教育訓練招集
採用対象者	元自衛官(1年以上勤務者) 予備自衛官補(教育訓練修了者) 	元自衛官 (1年以上勤務者で退職後1年未満の者) 予備自衛官 (元自衛官(1年以上勤務者)及び予備自衛官補(一般)から任用された者で所定の教育訓練により基本特技を修得した者) 	予備自衛官補(技能) (衛生・語学等の特殊又は高度な技術及び知識を有する者) 予備自衛官補(一般) (予備自衛官補(技能)に該当しない者)
訓練(教育訓練)	訓練招集命令により出頭し、予備自衛官等として必要な知識・技能を維持するための訓練に応じます。		

詳しくは、QRコードから公式サイトへアクセスしてください。

予備自衛官

検索



予備自衛官

予備自衛官は、非常勤の特別職国家公務員として、普段はそれぞれの職業に就く等しながら、訓練招集命令により出頭し、予備自衛官として必要な知識・技能を維持するため年間5日間(自衛官退職後1年未満に出身自衛隊に採用された者の初年度は1日間)の訓練に応じます。



普段は…



民間人としてそれぞれの職業に就く等しながら、企業などの一員として勤務しつつ、それぞれ定められた日数の訓練に参加します。

防衛招集
国民保護等招集
災害招集

いざという時は…



自衛官としてわが国の防衛等に貢献します。
また災害招集等で社会に貢献します。

即応予備自衛官

即応予備自衛官は、非常勤の特別職国家公務員として、普段はそれぞれの職業に就く等しながら、訓練招集命令により出頭し、即応予備自衛官として必要とされる知識・技能を最底限確保するため、年間30日間の訓練に応じます。

普段は…



民間人としてそれぞれの職業に就く等しながら、企業などの一員として勤務しつつ、**年間30日**の訓練に参加します。

防衛招集
国民保護等招集
治安招集
災害等招集

いざという時は…



速やかに出頭し、自衛官としてわが国の防衛等に貢献します。また災害救援等で社会に貢献します。

予備自衛官補

自衛官未経験者を予備自衛官補として採用し、所要の教育訓練を経た後、予備自衛官として任用する制度です。

自衛官
未経験者

志願
試験

予備自衛官補
教育訓練招集
応招義務

任用

教育訓練
終了後

予備自衛官
防衛招集応招義務
国民保護等招集応招義務
災害招集応招義務

陸上自衛隊の職種、

陸上自衛隊の職種

普通科



地上戦闘の骨幹部隊として機動力、火力、近接戦闘能力を有し、作戦戦闘に重要な役割を果たします。



機甲科



戦車部隊、機動戦闘車部隊、水陸両用車部隊及び偵察部隊があり、戦車などの正確な火力、優れた機動力及び装甲防護力により、敵を圧倒撃破するとともに迅速に機動します。



野戦特科



火力戦闘部隊として大量の火力を随時随所に集中して、広域な地域を制圧します。



高射特科



対空戦闘部隊として侵攻する航空機等を要撃するとともに、広範囲にわたり迅速かつ組織的な対空情報活動を行います。



情報科



情報に関する専門技術や知識をもって、情報資料の収集・処理及び地図・航空写真の配布を行い各部隊の情報業務を支援します。



ボーイング

航空科



各種ヘリコプター等をもってヘリ火力戦闘、航空偵察、部隊の空中機動、物資の輸送、指揮連絡等を行い、広く地上部隊を支援します。



施設科



戦闘部隊を支援するため各種施設器材をもって、障害の構成・処理、陣地の構築、渡河等の作業を行うとともに、施設器材の整備等を行います。



通信科



各種通信電子器材をもって部隊間の指揮連絡のための通信確保、電子戦の主要な部門を担当するとともに、写真・映像の撮影処理並びに通信器材等の整備を行います。



主要装備品及び編成

武器科



火器、車両、誘導武器、弾薬の補給・整備、不発弾の処理等を行います。



需品科



糧食・燃料・需品器材や被服の補給、整備及び回収、給水・入浴・洗濯等を行います。



輸送科



国際平和協力活動等における民間輸送力による輸送や各種ターミナル業務などの輸送を統制するとともに、特大型車両等をもって部隊等を輸送します。



化学科



各種化学器材をもって放射性物質等で汚染された地域を偵察し、汚染された人員・装備品等の除染を行います。



警務科



犯罪の捜査、警護、道路交通統制、犯罪の予防等、部内の秩序維持に寄与します。



会計科



隊員の給与の支払いや部隊の必要とする物資の調達等の会計業務を行います。



衛生科



患者の治療や医療施設への後送、隊員の健康管理、防疫の技術援助及び衛生資材の補給整備等を行います。



音楽科



音楽演奏を通じて隊員の士気を高揚するとともに広報活動を行います。





陸上自衛隊の主要装備品



**16式機動戦闘車
(16MCV)**

乗員:4名 全長:約8.5m
全幅:約3.0m 全高:約2.9m
武装:105mm施線砲



**水陸両用車
(AAV7)**

乗員:3名 定員:21名
全長:約8.2m 全幅:約3.3m
全高:約3.3m 武装:40mm自動てき弾銃



**10式戦車
(10TK)**

乗員:3名 全長:約9.4m
全幅:約3.2m 全高:約2.3m
武装:120mm滑空砲



**99式自走155mm榴弾砲
(99HSP)**

乗員:4名 全長:約12m
全幅:約3.2m 全高:約4.3m
武装:155mm榴弾砲



**軽装甲機動車
(LAV)**

乗員:4名 全長:約4.5m
全幅:約2.0m 全高:約1.9m



高機動車

乗員:10名 全長:約4.9m
全幅:約2.2m 全高:約2.4m



**12式地对艦誘導弾
(12SSM)**

【誘導弾】
全長:約5.0m 直径:約0.35m
重量:約700Kg



**03式中距離地对空誘導弾
(中SAM)**

【誘導弾】
全長:約4.9m 直径:約0.32m
重量:約570Kg



**中距離多目的誘導弾
(中多)**

【誘導弾】
全長:約1.4m 直径:約0.14m
重量:約26Kg



**11式短距離地对空誘導弾
(11短SAM)**

【誘導弾】
全長:約2.9m 直径:約0.16m
重量:約103Kg



**07式機動支援橋
(07MSB)**

【橋節運搬車】
乗員:3名 全長:約11.0m
全幅:約3.0m 全高:約3.7m



**オートバイ
(オート)**

乗員:1名 全長:約2.1m
全幅:約0.9m 全高:約1.2m



**輸送ヘリコプター
(CH-47JA)**

乗員:3名 定員:55名
全長:30.2m 全幅:18.3m
全高:5.7m



**ティルト・ローター機
(V-22)**

乗員:3~4名 定員:24名
全長:約17.5m 全幅:約25.8m
全高:約6.7m

陸上自衛隊の編成

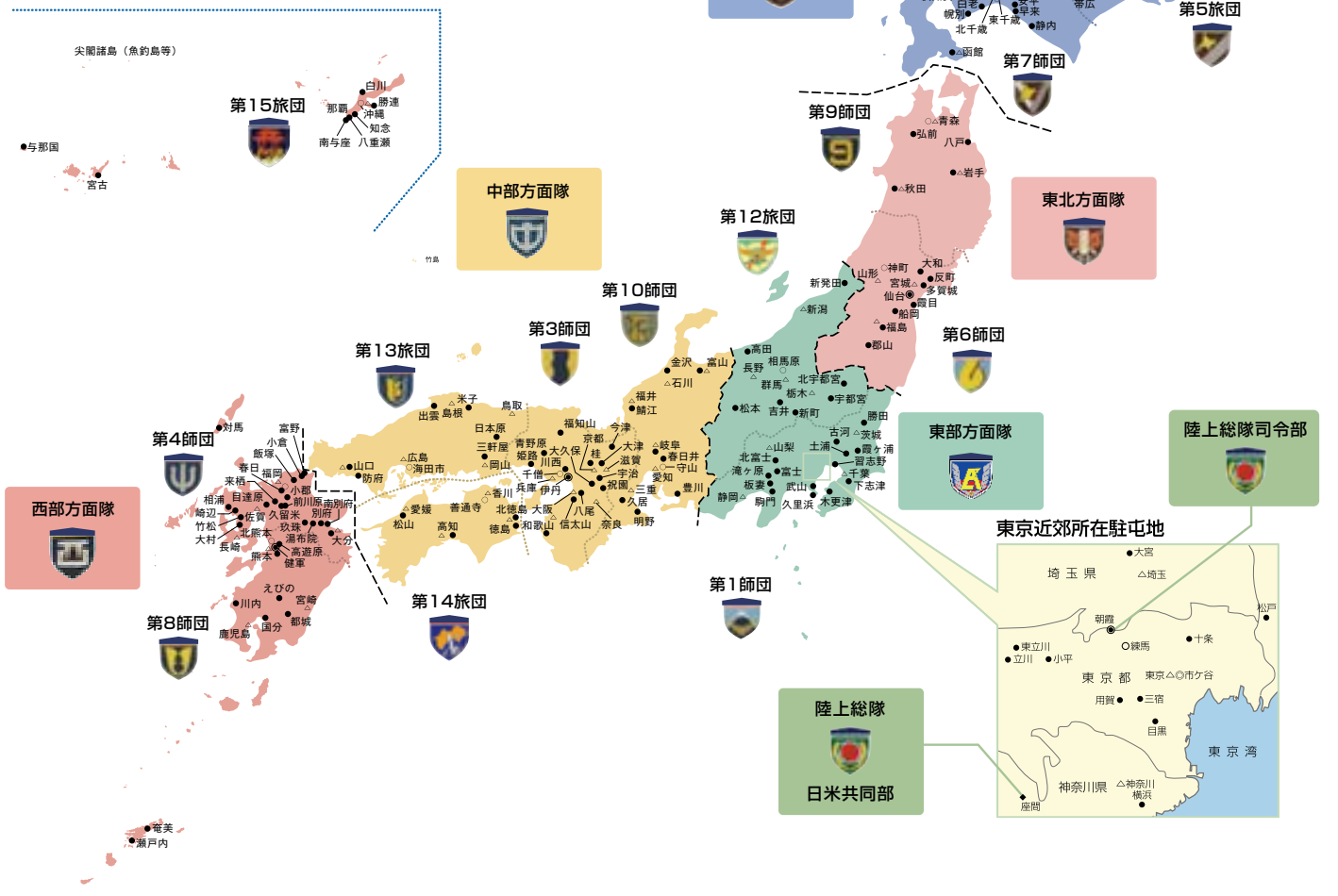


※ 共同の機関

陸上自衛隊の主要駐屯地

【凡 例】

- 陸上幕僚監部
- ◆ 陸上総隊日米共同部
- 駐・分屯地
- 陸上総隊司令部、方面総監部
- 師団・旅団司令部
- △ 地方協力本部



陸上自衛隊の階級章等

■ 階級章

陸上自衛官が制服等の肩または、襟(陸士は、左腕部)につけているものです。陸上自衛官の階級が分かります。

階級 (外国軍人呼称)	陸上幕僚長 たる陸将 (大将)	陸将 (中将)	陸将補 (少将)	1等陸佐 (大佐)	2等陸佐 (中佐)	3等陸佐 (少佐)	1等陸尉 (大尉)	2等陸尉 (中尉)	3等陸尉 (少尉)	准陸尉 (准尉)
階級章										

階級 (外国軍人呼称)	陸曹長 (上級曹長)	1等陸曹 (曹長)	2等陸曹 (2等軍曹)	3等陸曹 (軍曹)	陸士長 (上等兵)	1等陸士 (1等兵)	2等陸士 (2等兵)
階級章							

■ 最前任上級曹長の識別章

陸上自衛隊
最前任上級曹長



陸上総隊
方面隊、師団等
最前任上級曹長



旅団、団
補給処等
最前任上級曹長



連隊、大隊
最前任上級曹長



■ き章

陸上自衛官が制服等の胸につけているものです。陸上自衛官の現在の職務や取得した技能が分かります。



■ 防衛記念章

第1号 特別賞詞	第2号 第1級賞詞	第3号 第2級賞詞	第4号 第3級賞詞 (災害派遣等の行動)	第5号 第3級賞詞 (航空無事故等)	第6号 第3級賞詞 (発明考案・業務改善)
第7号 第3級賞詞(訓練・演習等)	第8号 第4級賞詞 (災害派遣等の行動)	第9号 第4級賞詞 (航空無事故等)	第10号 第4級賞詞 (発明考案・業務改善)	第11号 第4級賞詞 (訓練・演習等)	第12号 第5級賞詞 (災害派遣等の行動)
第13号 第5級賞詞 (航空無事故等)	第14号 第5級賞詞 (発明考案・業務改善)	第15号 第5級賞詞 (訓練・演習等)	第16号 安全功労・防災功労者表彰に係る 業務従業者	第17号 特別賞状受賞に係る 業務従業者	第18号 第1級賞状受賞に係る業務従業者
第19号 将たる指揮官 (方面総監、自衛艦隊司令官、総隊司令官等)	第20号 将補たる指揮官 (空挺団長、護衛隊群司令、航空団司令等)	第21号 1佐たる指揮官 (連隊長、護衛隊司令、飛行群司令等)	第22号 2・3佐たる指揮官 (大隊長、中隊長、艦長、飛行隊長等)	第23号 1尉たる指揮官 (中隊長、艦長、隊長等)	第24号 将たる指揮官を補佐する 上級曹長等
第25号 将補たる指揮官を補佐する 上級曹長等	第26号 1佐たる指揮官を補佐する 上級曹長等	第27号 2佐・3佐たる指揮官を補佐する 上級曹長等	第28号 1尉たる指揮官を補佐する 上級曹長等	第29号 内局勤務者 (本省内部部局勤務者)	第30号 統合幕僚監部勤務者 (学校を除く)
第31号 陸・海・空幕僚監部勤務者	第32号 平成18年3月26日以前の統合幕僚会議事務局及び旧情報本部勤務者	第33号 情報本部勤務者 (通信所を除く)	第34号 技術研究本部勤務者 (研究所、先進技術推進センター及び試験場を除く)	第35号 装備施設本部勤務者	第36号 防衛監察本部勤務者
第37号 防衛装備庁勤務者 (防衛装備庁の内部部局勤務者)	第38号 内閣官房等勤務者 (内閣官房、内閣府、又は国の行政機関勤務者)	第39号 25年以上勤務者	第40号 10年以上勤務者	第41号 海外勤務従事者	第42号 海賊対処行動従事者
第43号 国内における大規模災害従事者	第44号 国際貢献従事者 (PKO活動・国際緊急援助活動等)	第45号 国際貢献従事者 (テロ対策特別措置法)	第46号 国際貢献従事者 (イラク人道復興支援特別措置法)	第47号 国家的行事従事者	第48号 海外訓練等従事者

陸上自衛隊公式Webサイト及びSNS

陸上自衛隊は、この大地と国民の生命・財産を守るため日頃から国民とともにある存在として全国各地でいろいろな活動を行っています。この場を通じて、陸上自衛隊に対する理解を深める一助となれば幸いです。



陸上自衛隊
WEBサイト



@JGSDF_pr



@jgsdf.jp



@JGSDF_pr



陸上自衛隊キャラクター
タクマ君とユウちゃん



陸上自衛隊広報センター

陸上自衛隊広報センターは、埼玉県朝霞市に所在する陸上自衛隊朝霞駐屯地に併設された、陸上自衛隊唯一の体験型広報施設です。陸上自衛隊の任務・組織などの紹介のほか、10式戦車、対戦車ヘリコプター(AH-1S)などの装備品を多数展示しております。

このほか、フライトシミュレータ(AH-1S)や迫力ある3Dシアター、服装体験コーナーなど、見るだけでなく、体験、体感できる施設です。

入館料 無料(手続きなしで入館できます。)

開館時間 午前10時から午後5時

休館日 月曜日、第4火曜日、年末年始

駐車場 無料(乗用車:約100台、大型バス:4台)

電話 03-3924-4176



センター外観



屋外展示



屋内展示

アクセス

お車で越越しの場合…東京外環道「和光 インター」から約1.5Km

※カーナビゲーションをご利用の方は、「埼玉県朝霞市栄町4-6」付近に設定してください。

※川越方面からは、右折進入できませんので、新座和光線(県道109号線)から直進でお入りください。

公共交通機関をご利用の場合

東武東上線をご利用の場合…「和光市駅」又は「朝霞駅」下車で徒歩約20分です。

地下鉄有楽町線・副都心線をご利用の場合…「和光市駅」下車で徒歩約20分です。

西部池袋線をご利用の場合…「大泉学園駅」北口から西武バス「朝霞駅行」に乗車、「南大通り」(旧「税務大学研修所前」)下車で徒歩約15分です。

※振武臺記念館は、陸上自衛隊広報センター敷地内にございます。



自衛官募集ホームページ

自衛官募集ホームページでは、採用種目に関する情報はもちろん、自衛隊の仕事に関する情報をわかりやすく紹介しています。

また、広報動画も逐次公開していますので、是非ご覧ください。



【採用に関するトピック紹介】



【自衛隊の仕事に関する情報紹介】



【自衛官等の採用種目について、アニメでわかりやすく紹介】



【簡単な質問に答えるだけで、自衛官としてのあなたの適職が見つかります!】



【広報動画も逐次公開中!】

【自衛官募集ホームページ】

<https://www.mod.go.jp/gsdf/jieikanbosyu/>

アクセスは
こちら!





陸上自衛隊ホームページ
<https://www.mod.go.jp/gsdf/>



YouTube 自衛隊公式YouTubeチャンネル



自衛官募集ホームページ
<https://www.mod.go.jp/gsdf/jieikanbosyu/>



自衛官募集コールセンター

守ろうみんなの国
0120-063792
(年中無休:12時~20時)携帯電話からも無料です。

自衛官募集

検索